話題の広場

中央会事業より

グループ創業塾を開催

【事業計画を作成】

8月26日㈰、9月2日㈰、9月9日㈰の3日間に亘り、秋田市の秋田県青少年交流センターにおいて、県内で創業を考えている方を対象とした「グループ創業塾」を開催し、創業に関する心構えや創業への具体的なプランの作成について研修を行いました。

最終日には、事業計画と収支予算の作成を重点的に行い、「**自分の行いたい事業は採算がとれるのかどうか**」を検証しました。講師の株式会社小室経営コンサルタント代表取締役小室秀幸氏からは、「**収支予算がうまくいかなければ事業計画から見直す。この作業を繰り返すことで、事業計画が精査される。**」とアドバイスがありました。

受講者の中には、今回の創業塾を受講したことで創業意欲が高まり、グループによる企業組合設立の動きもみられました。本会では、引き続き、設立支援を行うことにしています。

農商工連携実践スクール（第4回）を開催

【グループインタビューの様子】

9月13日㈭、秋田県総合食品研究センターにおいて、第4回農商工連携実践スクールを開催し、少人数（6 ～ 8名程度）を対象に司会者が座談会形式でインタビューを行う、グループインタビューによる消費者調査の手法について学びました。

受講者からは、「自分では相手（消費者）に分かってもらっていると思っていたことが全く伝わっていないことに気づかされた。」、「生産者側と消費者側の目線の違いを身をもって体験できた。」等の声が聞かれ、商品改良を進める上で有意義な研修となりました。

新会員紹介

■総合福祉企業組合

吉田理事長

【組合の紹介・PR】 介護の現場では、福祉用具が低下した身体機能を補完するだけでなく、福祉用具を使用して介護する側の負担軽減効果も期待されており、高齢化率が全国で最も高い秋田県においても、福祉用具に対するニーズが年々増加しています。そこで、秋田市より指定居宅サービス事業者並びに指定介護予防サービス事業者の指定を受けて、地域に密着し、高齢者やその家族が快適に暮らすためのサービスを提供することを目的に、企業組合を設立しました。

当組合では、「心の行き届いたサービス」を経営理念とし、要介護・要支援者及び家族の悩み・不安を少しでも解消したいと考えております。

安全・安心な日常生活をサポートする福祉用具の貸与並びに販売を行う他、住みよい環境を提供する各種リフォーム等、要望に応じたきめ細かいサービスを提供して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

◆住　　所	秋田県秋田市八橋本町1丁目3番30号
◆代表理事	吉　田　洋　人
◆出 資 金	800,000円
◆組合員数	4名
◆主な事業	介護保険制度における福祉用具貸与
◆成立年月日	平成24年9月18日

支援団体活動レポート

商品企画開発力強化研修会を開催　～あきた食品振興プラザ～

8月27日㈪、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、あきた食品振興プラザ（後藤一会長）の「商品企画開発力強化研修会」が開催されました。

本研修会は、日本経済が大量生産から創造生産へとシフトするのに伴い、消費者が求める商品価値が大きく変化している中で、**市場視点の実践的な商品開発**を目的として3回に亘り開催することにしています。

【研修会の様子】

今回は、講師のセールスレップ・販路コーディネーター協同組合理事鈴木栄治氏から、マーケティングと商品開発のポイントについて次のようなアドバイスがありました。

○　マーケティングにおいて重要なことは、**「消費者の抱える問題を発見して上手に解決してあげること。」**であるが、そのためには、損得より「礼儀、約束、好感、親切、奉仕」といった**善悪重視の販売活動を心掛けること**が重要。

○　商品開発において重要なことは、市場ニーズ、技術・ノウハウ、生産・販売体制の三者を一体とした**売れる仕組み作りの検証をすること。**さらに、既存品が持つ当たり前の価値に、**安全、簡単、便利、健康、お得、希少等々の商品価値を付け加えて商品力を高めること。**

参加者からは講師のアドバイスが非常に参考になったとの意見が多数あり、次回はさらに参加者の希望を取り入れ、各社の商品を持ち寄りながらグループインタビュー等の求評会的な内容も織り交ぜて行うことにしております。

アラカルト　●a la carte●

■伝統工芸品生産組合が共同で商品開発　～秋田県漆器工業協同組合～

秋田県漆器工業協同組合（佐藤善六理事長）では、このたび経済産業省の「伝統的工芸品産業復興対策支援補助金」の需要開拓・意匠開発事業（産地活性化事業）に採択され、東日本大震災で被災した宮城県石巻市の雄勝硯生産販売協同組合、福島県浪江町の大堀相馬焼協同組合と共同で、硯箱セットの開発に取り組むことになりました。

硯箱セットは、本県の川連漆器の硯箱、宮城県の雄勝硯、福島県の大堀相馬焼の水差しの三つの伝統工芸品を組み合わせたもので、デザインの異なる20セットを試作し、平成25年2月に東京ビッグサイトで開催される「東京ギフトショー」へ出展を行い、商品化に取り組むこととしています。

佐藤理事長は、「東日本大震災で被災した伝統工芸品産地の復興支援と川連漆器の販路拡大を目的に、硯箱セットの共同開発を企画し、現在、デザイン画を基に硯箱の製作に取りかかっています。ジャンルの異なる産地間連携は初めての試みですが、是非、成功させて伝統工芸品産地の活性化に繋げていきたい。」と抱負を述べられました。

インフォメーション

北都ビジネスフォーラム 2012 に参加

9月11日㈫、秋田市の秋田ビューホテルにおいて北都ビジネスフォーラム2012（主催：株式会社北都銀行ほか）が開催され、県内外から55の企業や公共機関・団体が出展しました。

当日は、本会も参加し、組合や組合員企業向けの各種支援事業並びに創業・経営革新への支援施策等についてPRを行ったほか、各種経営相談に応じました。

【相談対応】

秋田県の最低賃金が改正されます　～秋田労働局～

10月13日㈯から、秋田県の最低賃金が現在の647円から7円引き上げられ、654円に変わります。

最低賃金はすべての労働者に適用されます。最低賃金額より低い賃金を労使合意の上で定めても、最低賃金法によって無効とされ、最低賃金額と同様の定めをしたものとみなされますので、事業主の皆様におかれましてはご注意下さい。

【お問い合わせ先】　秋田労働局労働基準部賃金室　☎018－883－4266

秋田県の最低賃金（1時間当たり）

654円

発効日　平成24年10月13日

「中小企業組合検定試験」受験者募集中！

本会では、平成24年度中小企業組合検定試験の受験者を募集しています。

本試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方は**「中小企業組合士」**として認定されます。現在、全国で約3,300名が中小企業組合士として組合（事業協同組合、商工組合、信用組合、火災共済協同組合、企業組合、協業組合など）や、商工組合中央金庫、中小企業団体中央会等で活躍しています。

「中小企業組合士」は、事業協同組合等の運営エキスパートとしての公的資格です。

是非、チャレンジして下さい。

○試　験　日：平成24年12月2日㈰
○試験会場：秋田県社会福祉会館（秋田市旭北栄町1番5号）
○試験科目：組合会計、組合制度、組合運営（3科目）
○受　験　料：5,000円（一部科目免除者は3,000円）
○申込締切：**平成24年10月15日㈪**

【お問い合わせ先】　本会調査広報課（☎018－863－8701）まで。

組合ティールーム

秋田管工事業協同組合
理事長　高　橋　正　男さん

○業界の現状について

昭和62年に、秋田管工事協同組合と秋田市水道工事協同組合が組織の強化を目指して合併し、新たに秋田管工事業協同組合としてスタートしました。現在は、資材の共同購買や共同受注を主たる事業として34名で組合活動を行っております。特に、秋田市上下水道局からは宿日直、漏水修理、水道メーター検針、メーター関連（検満メーターの交換等）の4業務を継続して受託しています。平成16年に「官公需適格組合証明」を取得したほか、平成7年の阪神・淡路大震災を機に秋田市水道局と締結していた災害復旧協定について、平成21年に見直しを図り、新たに「災害発生時における水道施設の応急復旧作業の応援に関する協定」を締結し、市民のライフラインである水道を維持するため、迅速且つ適切な対応が出来るように、常時体制を整えています。

昨年3月の東日本大震災時には、秋田市上下水道局からの要請で、宮城県遠田郡美里町にて配水管復旧作業を行いました。また、組合青年部では昨年、岩手県釜石市（4月）や宮城県石巻市（10月）で炊き出し等の慰問活動を実施、今後は福島県への支援活動を計画しています。

○理事長としての抱負

理事長として、組織を安定させていくこと、組合を守っていくことを第一に考えております。

今後、人口減少や少子高齢化により、国内経済も県内経済もますます縮小していくことと思います。特に、建設業においては公共工事の増加が期待できない状況で、新しい事業に取り組むことも難しい状況にありますが、今ある仕事を確実にこなすことで、信頼と実績を着実に積み重ねながら、組合員のために堅実、安定、質実剛健な組合運営をしていきたいと思っています。

○座右の銘について

座右の銘は「失信不立」です。何事においても信用が大切だと考えています。

○趣味について

一番の趣味はゴルフで、毎回楽しくプレーしています。読書も好きで、特に、歴史物や科学の雑誌をよく読みます。また、仕事が忙しい時は、自宅で飼っている猫と戯れると心が癒されます。その猫も今は17歳を迎え、人間も猫も女性の方が長生きするんだなあと興味深く感じております。